

地域における日本語教育の「特定のニーズ」について考える
～特定のニーズに対応した日本語教育実践とその普及～

コメンテーター 内海由美子（山形大学）

「生活者としての外国人」のための特定のニーズに対応した日本語教育事業とは…

平成19年度から実施。

平成24年度からは、地域日本語教育実践プログラムを創設。

令和5年度より「特定のニーズに対応した」を加えて名称変更。

「特定のニーズ」…在住外国人等の出身国や地域ごとの**背景**、「子育て・教育」「就労」等の特定の**ライフステージ**による、**特定の課題に対する学習ニーズ**

3つの取り組みに対するコメント

- (1) 「特定のニーズ」
- (2) 実践の成果
- (3) 今後の普及に対する期待

「オンラインによる基礎的な日本語教育」について

特定非営利活動法人 国際活動市民中心(CINGA)

令和5年度「自己表現と対話で学びを促進するオンライン基礎日本語教育普及事業」

令和4年度「『生活者』のための公的な基礎日本語教育の実践研究事業」

令和3年度「地域日本語教室での対話的な日本語活動につなげるための基礎日本語教育実践研究事業」

「オンラインによる基礎的な日本語教育」について

「特定のニーズ」

- 学習者側…学習の場につながりにくい人を対象に基礎的な日本語力や読み書きの力をつける。「対話」という学習活動によって地域社会に参加しようとする意識を育む。
- 地域社会側…地域日本語教育の体制整備、多文化共生のまちづくり

実践の成果

- 「特定のニーズ」に応える教育実践に必要な要素の明確化「自己表現、できる感、仲間、対話、とっつきやすさ、楽しさ、周囲の理解とサポート」
- コーディネータと日本語教師が一緒に参加する研修で、視点や方向性を共有することが重要

普及に対する期待

- 日本語教師研修の継続
- 実践報告、特に相談会の継続

「『生活の漢字』に関する日本語教育」について

一般財団法人ダイバーシティ研究所 『生活の漢字』をかんがえる会

令和5年度「『生活者としての外国人』のための文字学習支援 ～ヘルスリテラシーの試みと実践～」

令和4年度「毎日の暮らしに役立つ『生活の漢字』の学習支援～十全な社会参画を目指して～」

令和3年度「日本で永住するための漢字学習支援～暮らしの文字・子育ての文字の習得を目指して」

「『生活の漢字』に関する日本語教育」について

「特定のニーズ」…学習者主体の漢字学習

- 学習者側…自分の生活を踏まえて学習項目・学習内容を選び取る「漢字の学習」
- 支援者側…学習者主体の漢字学習を支援する。

実践の成果

- 漢字学習の成果が生活の改善に直結することを、学習者が自覚できる。
- 学習意欲の向上、学習管理、自律学習能力の獲得につながると期待できる。
- 支援者の視点が学習者主体の学習にシフトする。
- 学習者と支援者がともに学ぶ「漢字の学習」がデザインされている。「教科書を学ぶ」から「教科書で学ぶ」への転換が期待できる。

普及に対する期待

- 東日本にも普及を！
- 「今日の漢字」を判断・選択するポイントがあればご紹介いただきたい。

「外国人学校における日本語教育とキャリア教育」について

特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター東海

令和5年度「在日ブラジル学校におけるキャリア形成に向けた日本語教育広域連携プロジェクト」

令和4年度「在日ブラジル学校におけるキャリア形成に向けた日本語教育普及プロジェクト」

令和3年度「ブラジル学校における日常生活及びキャリア教育としての日本語コミュニケーション力向上モデルプロジェクト」

「外国人学校における日本語教育とキャリア教育」について

「特定のニーズ」

- 学習者側…キャリアデザインができ、将来に希望が持てる。
- 地域社会側…ブラジル学校の卒業生を受け入れるために地域の意識を変える。地域を支えて活躍できる人材を地域で育成する。

実践の成果

- 日本語教育とキャリア教育の組み合わせによって、学習者が日本に定住する自分を前向きにイメージでき、好きな進路を含む将来の選択肢が増やせる。
- 地域社会（日本社会）への橋渡しとなっている。
- 在日ブラジル学校のつながりが複数の県にまたがって、できた。

普及に対する期待

- 他地域への普及と同時に、在日ブラジル学校のない地域への普及もぜひ！
- 修了生や就業者が体験を広く伝える場